

# 学校だより 校訓「創造」「感動」「鍛錬」

垂水市立垂水中央中学校

令和3年度 第10号（1月25日発行） 校長 亀山 浩一

## 「一日の計は寅にあり，一年の計は元旦にあり」

2022年元旦の南日本新聞の南風録に掲載されていました。この寅は、干支ではなく、寅の刻、つまり明け方の時間帯を指します。物事の始まりに目標を見定める大切さを説く言葉です。どんな一日にしたいか、どんな一年にしたいか、思いを巡らせるのが、明け方であり、年の初めです。

気合い十分で、受験や次のテストに向け、照準を合わせた人もいるでしょう。部活動で、次の大会に向け目標を設定した人もいるでしょう。私は、この正月に「凡事徹底」「当たり前のことを、当たり前前に徹底してできますように」という目標を立ててみました。さて、皆さんにとって、毎日の生活の中で、凡事（当たり前のこと）にはどんなことがあるでしょう。「相手の顔を見て挨拶する」「登校時間や始業時間など時を守る」「靴をきちんとそろえる」「授業に集中する」「助けてもらったらお礼を言う」など、たくさんありますね。この3学期、特別な目標でなくてもいいですから、凡事徹底、自分が当たり前にする、やり遂げる努力をしてみましょう。（始業式の講話から）

## 門松づくり・苗の植え替え

12月21日（火）に学校応援団の協力により門松づくりをしていただきました。門松は、幸せをもたらす神様が迷うことなくやってくるように立てられるものです。今年も良い1年でありますように！



## 生徒会役員本格始動

第13期生徒会役員が本格的にスタートしました。スローガンは「NO LIMIT」～自分たちの意志を尊重し合い、挑み続けよう～です。3学期は次年度の0学期。生徒会活動に限界はない。自治活動として、朝のあいさつ運動を始めました。笑顔でさわやかなあいさつ、1日のスタートを元気よくスタートさせましょう。



## 九州大会準優勝

12月26日（日）～27日（月）熊本市で行われた九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会の団体の部で、男子ソフトテニス部が準優勝しました。予選リーグ、沖縄の東風平中を3-0、佐賀県の鹿島西部を3-0で勝利し予選突破。決勝トーナメント1回戦、福岡3位の新宮中を2-1で勝利、準決勝で福岡2位の原中を2-1で勝利し、決勝へ進出。福岡の吉富中に1-2で敗れたものの準優勝という結果でした。（選手は全試合、全力で戦った、常に前向きに自分たちのテニスに徹した。苦しい場面でもペアと協力して、またチーム全体で盛り上がりながら勝ち進んだ。：顧問談）



1月5日、尾脇市長に報告に行きました。市長から「運は徳から生じる」という言葉をいただきました。日頃から、人のために動くことで徳が積まれるもの。3月に行われる全国大会でも、日頃の生活を大切に、力を発揮して欲しいものです。



## 消防出初め式

1月6日（木）キララドームで、垂水市の消防出初め式が行われました。吹奏楽部が開会式で演奏し、華を添えてくれました。

### 表彰

#### 九州ジュニア選抜ソフトテニス大会

【準優勝】男子ソフトテニス部

#### 第39回県中学校選抜インドアソフトテニス大会

【優勝】男子ソフトテニス部

#### 第39回ソフトテニスプロエース杯1年女子の部

【準優勝】女子ソフトテニス部

#### 第61回新春書き初め会

【銀賞】甲崎離澄

【銅賞】井之上沙弥、井之上史歩



日	曜	2月の主な行事
3	木	立志の集い・講演会→延期
5	土	県PTA活動委嘱公開→中止
8	火	3年学年末テスト（～10日）
15	火	1,2年学年末テスト（～17日）
18	金	生徒会専門部代議員会
20	日	第2回PTA奉仕活動
25	金	公立入試事前指導